

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	事故予防及び防犯上、内側玄関を家族等には同意を得た上で常時施錠しており、利用者の要望に応じてのみの開錠となっている。	常時施錠とならないよう、短時間でも開錠する機会を設ける。	①利用者の要望に応じ随時開錠することに加え、定時の開錠時間を設ける。 ②開錠時には事故等に備え、職員の玄関及び利用者の見守りを強化する。	12ヶ月
2	51	コロナウイルスの影響により、日常的な外出やイベントの機会が減っている。	現状に沿ってできる外出の機会や日中活動の取り組みを増やし、充実した日常生活とサービス満足度の向上に繋げる。	①短時間、近距離の外出の機会を増やす。 ②屋内の取り組みを充実させる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。